



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月9日

上場会社名 リゾートトラスト株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 4681 URL <https://www.resorttrust.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伏見 有貴
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 業務部門管掌 兼CCO (氏名) 井内 克之 (TEL) (052) 933-6519
 四半期報告書提出予定日 2024年2月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向けIR電話会議)
 (百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	135,840	5.6	12,858	16.0	13,219	15.2	9,567	△35.8
2023年3月期第3四半期	128,601	7.6	11,080	25.1	11,476	1.3	14,907	74.3

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 13,219百万円(△31.7%) 2023年3月期第3四半期 19,346百万円(94.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2024年3月期第3四半期	円 銭 90.18	円 銭 —
2023年3月期第3四半期	140.23	—

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2024年3月期第3四半期	百万円 464,635	百万円 129,086	% 26.4
2023年3月期	439,999	123,889	26.8

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 122,880百万円 2023年3月期 117,875百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭 —	円 銭 20.00	円 銭 —	円 銭 25.00	円 銭 45.00
2024年3月期	—	25.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	29.00	54.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2024年3月期第2四半期末配当金の内訳 記念配当 2円00銭

2024年3月期(予想)の期末配当金にも「創立50周年記念配当」2円を含んでおります。年間4円の記念配当を予定。

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	202,000	18.9	21,000	71.1	21,200	60.0	15,000	△11.3	141.40	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 社(社名) 、除外 社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	108,520,799株	2023年3月期	108,520,799株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	3,086,353株	2023年3月期	2,072,758株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	106,085,561株	2023年3月期3Q	106,311,041株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページをご覧ください。
- ・決算補足説明資料については、本日、当社ホームページ(投資家情報-IR資料)に「決算説明資料」を掲載いたします。(https://www.resorttrust.co.jp/ir/)

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①当第3四半期連結累計期間の概況

	前第3四半期 連結累計期間 (実績)	当第3四半期 連結累計期間 (実績)	前年同期比
売上高	128,601百万円	135,840百万円	+5.6%
営業利益	11,080百万円	12,858百万円	+16.0%
経常利益	11,476百万円	13,219百万円	+15.2%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	14,907百万円	9,567百万円	△35.8%
(参考) 評価 営業利益	18,502百万円	21,574百万円	+16.6%

[前年同期比]

前年同期には、会員権事業において、2022年3月に販売を開始した「サンクチュアリコート琵琶湖」を中心に、ホテル会員権の販売が好調でありましたが、当期間では、2022年10月に販売開始した「サンクチュアリコート日光」の販売好調も通期で寄与し、前年を上回る契約実績であったこと、ホテルレストラン等事業において、回復が遅れていた都市部を中心に会員制リゾートホテルの稼働率が前年を上回ったこと、メディカル事業において、メディカル会員権の販売が前年を上回り、「ハイメディック大阪中之島コース」販売開始(2023年12月)の後押しもあり、引き続き好調に推移し、会員数の増加に伴う会費収入の積み上がりが収益へ貢献したこと、課題であったシニアレジデンスの稼働率が上昇に転じたことなどにより、リゾートトラストグループ全体として、経常利益までは「増収増益」となりましたが、前年同期に一般ホテル売却に伴う特別利益(約90億円)があったため、親会社株主に帰属する四半期純利益は「減益」となっております。また、不動産収益の繰延影響等を除いた実力値を示す「評価営業利益」は、ホテル会員権、メディカル会員権の販売好調により大きく進展しております。

(参考「評価営業利益」とは、未開業ホテルの会員権販売において、会員権代金の内「不動産代金」は、開業時に一括収益認識されることから、会計上、開業時まで繰延べられますが、その繰延利益が当会計期間中に計上されたと仮定した時の利益を表します。なお、加えて、メディカル会員権などの収益認識基準の影響も考慮し、当会計期間における実力値を示す経営指標として活用しております。)

[全体概況]

当第3四半期連結累計期間における、わが国経済は、資源価格や物価、人件費などの高騰が個人消費、企業活動へ影響を及ぼす中で、値上げ、賃金上昇、人手不足などへの対応が企業には求められました。このような環境下で、当社グループの状況は、前年度に引き続き、ホテル、メディカルの会員権販売が好調であり、昨年を実施したホテルレストラン等事業における値上げの効果に加え、ホテル会員権の値上げを実施し、インフレリスクへ対応しております。一方で、前年同期には一般ホテル売却に伴う「特別利益」約90億円が計上されていたことなどにより、この結果として、売上高は135,840百万円(前年同期比5.6%増)、営業利益は12,858百万円(前年同期比16.0%増)、経常利益は13,219百万円(前年同期比15.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は9,567百万円(前年同期比35.8%減)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

②セグメントの業績概況

【会員権事業】

	前第3四半期 連結累計期間 (実績)	当第3四半期 連結累計期間 (実績)	前年同期比
売上高	26,517百万円	27,735百万円	+4.6%
セグメント利益	8,617百万円	7,792百万円	△9.6%

会員権事業におきましては、2022年3月から販売を開始した「サンクチュアリコート琵琶湖」、2022年10月から販売を開始した「サンクチュアリコート日光」の会員権販売がそれぞれ好調に推移しましたが、開業するまでの間は、「不動産代金」の「売上高および原価」が繰延べられること、また、前年同期に比べ、見込み客紹介の業務委託手数料や営業スタッフのベア等件費の増加などコストアップにより、増収減益となりました。当期においてホテル会員権の値上げを行っており、コスト増に対応してまいります。

【ホテルレストラン等事業】

	前第3四半期 連結累計期間 (実績)	当第3四半期 連結累計期間 (実績)	前年同期比
売上高	68,260百万円	72,574百万円	+6.3%
セグメント利益	5,420百万円	6,625百万円	+22.2%

ホテルレストラン等事業におきましては、前年同期には、一部ホテル売却の準備コストがかかっていたものが無くなるなどコスト減少に加え、昨年11月からの値上げの効果、更には、「東京ベイコート倶楽部」など回復の遅れていたアーバンリゾートの稼働回復などにより、ベアや中抜け廃止などの人事施策実行に伴うコスト増を吸収し、増収増益となりました。

【メディカル事業】

	前第3四半期 連結累計期間 (実績)	当第3四半期 連結累計期間 (実績)	前年同期比
売上高	33,276百万円	35,000百万円	+5.2%
セグメント利益	4,463百万円	5,433百万円	+21.7%

メディカル事業におきましては、「ハイメディック大阪中之島コース」販売開始（2023年12月）の後押しもあり、総合メディカルサポート倶楽部「グランドハイメディック倶楽部」の会員権販売が順調であったことで、会員の増加に伴う年会費収入等が増加したことに加え、シニアレジデンスの稼働回復などにより、増収増益となりました。

【その他】

	前第3四半期 連結累計期間 (実績)	当第3四半期 連結累計期間 (実績)	前年同期比
売上高	546百万円	529百万円	△3.1%
セグメント利益	536百万円	563百万円	+5.1%

「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでおります。

(2) 財政状態に関する説明

四半期連結会計期間末の資産、負債、純資産等の状況に関する分析

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は464,635百万円（前連結会計年度比5.6%の増加）となりました。これは、前連結会計年度末に比べ、会員権販売における提携ローンの利用に伴い、営業貸付金が7,599百万円減少

し、割賦売掛金が15,823百万円増加したこと、会員制ホテルの建設に伴い会員権在庫となる仕掛販売用不動産が10,759百万円、建設仮勘定が5,750百万円それぞれ増加したことなどによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は335,548百万円(前連結会計年度比6.1%の増加)となりました。これは、前連結会計年度末に比べ、未開業物件のホテル会員権販売が増加したことに伴い、前受金が27,588百万円、償却型預り保証金が4,897百万円それぞれ増加した一方で、長期借入金が11,185百万円減少したことなどによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は129,086百万円(前連結会計年度比4.2%の増加)となりました。これは、前連結会計年度末に比べ、利益剰余金が4,206百万円増加したことなどによるものであります。その結果、当第3四半期連結会計期間末における自己資本比率は26.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年11月10日付で、公表した当期の通期連結業績予想は以下のとおりです。

2024年3月期 通期連結業績予想数値(2023年4月1日～2024年3月31日)

	前連結会計年度 (実績)	当連結会計年度 (計画)	増減比	当連結会計年度 (前回予想)
売上高	169,830百万円	202,000百万円	+18.9%	201,000百万円
営業利益	12,270百万円	21,000百万円	+71.1%	19,000百万円
経常利益	13,247百万円	21,200百万円	+60.0%	19,000百万円
親会社株主に帰属する 当期純利益	16,906百万円	15,000百万円	△11.3%	14,000百万円

評価 営業利益	22,358百万円	22,300百万円	△0.26%	19,380百万円
---------	-----------	-----------	--------	-----------

創立50周年を迎えた当社グループは、2023年4月～2028年3月までの中期5ヵ年経営計画を策定しました。

本中期経営計画においては、前中計のコンセプトであった、これまで培ってきたそれぞれの事業を横の連携でしっかりと「つなぐ(connect)」ことに加えて、各事業にサステナビリティの軸を通し、社会価値と経済価値の両立を目指した上で、会員と共に、社員と共に、全てのステークホルダーのウェルビーイングを追求し、より強固なグループブランドを実現するとともに、お客様の一生涯を通じてお付き合いをしていただけるグループになることを目指します。

このような状況下、通期業績の見通しについては、会員制リゾートホテル「サンクチュアリコート高山」が2024年3月に開業を迎えることで、これまで繰延べられていた不動産収益が一括計上されること、また、ホテル、ゴルフ、メディカル、シニアライフ等の運営収益が拡大し、新たな価値を創出する一方で、賃金を継続的に上げる人的資本投資を拡大させることにより、更なる生産性と創造性の向上を目指した好循環を産み出していくことなどから、当社グループ全体として、売上高202,000百万円(前年同期比18.9%増)、営業利益21,000百万円(同71.1%増)、経常利益21,200百万円(同60.0%増)と売上高、営業利益は「過去最高を更新」し、増収増益を見込んでおりますが、一般ホテル売却に伴う特別利益が無くなることなどから、親会社株主に帰属する当期純利益は、15,000百万円(同11.3%減)と減益を見込んでおります。

なお、2023年11月10日付で、会員権販売の好調、ホテル、メディカル事業の運営収益の拡大等に伴い業績予想を上方修正しております。

また、配当金の予想についても期末配当金の予想を同日付(2023年11月10日)で増配修正しました。中間配当金は25円(内記念配2円)、期末の配当金は29円(内記念配2円)予想とし、年間配当金額は、前年同期に比べ9円増配の年間配当金54円(予想)と記念配当4円を含む増配を行い、過去最高の配当金額となる見込みであります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,467	29,221
受取手形、売掛金及び契約資産	11,632	11,230
割賦売掛金	61,585	77,409
営業貸付金	32,291	24,692
有価証券	10,817	8,514
商品	1,038	1,187
販売用不動産	4,914	3,629
原材料及び貯蔵品	1,485	2,112
仕掛販売用不動産	26,139	36,898
リース投資資産	4,162	3,733
その他	6,411	7,255
貸倒引当金	△982	△926
流動資産合計	187,964	204,957
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	96,829	96,767
機械装置及び運搬具（純額）	1,735	1,869
コース勘定	7,635	7,635
土地	43,702	46,599
リース資産（純額）	1,928	1,753
使用権資産	10,985	12,229
建設仮勘定	10,388	16,138
その他（純額）	2,927	2,815
有形固定資産合計	176,133	185,809
無形固定資産		
のれん	1,265	948
ソフトウェア	3,015	2,477
その他	1,876	2,322
無形固定資産合計	6,157	5,748
投資その他の資産		
投資有価証券	22,915	22,141
関係会社株式	1,328	1,337
長期貸付金	4,810	4,609
退職給付に係る資産	418	394
繰延税金資産	19,345	17,866
その他	21,343	22,195
貸倒引当金	△417	△423
投資その他の資産合計	69,744	68,120
固定資産合計	252,035	259,677
資産合計	439,999	464,635

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,738	2,337
短期借入金	1,308	1,006
1年内返済予定の長期借入金	11,300	11,538
リース債務	1,470	1,479
未払金	11,403	10,419
未払法人税等	4,723	1,446
未払消費税等	2,245	1,573
前受金	95,402	122,990
前受収益	15,020	19,424
債務保証損失引当金	35	30
ポイント引当金	511	509
その他	11,535	9,314
流動負債合計	156,695	182,070
固定負債		
長期借入金	13,487	2,301
リース債務	20,985	21,504
繰延税金負債	322	237
株式給付引当金	547	708
退職給付に係る負債	3,007	3,192
長期預り保証金	29,813	29,411
償却型長期預り保証金	86,073	90,971
その他	5,178	5,150
固定負債合計	159,414	153,478
負債合計	316,110	335,548
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,590	19,590
資本剰余金	21,574	21,491
利益剰余金	73,662	77,868
自己株式	△3,064	△5,616
株主資本合計	111,762	113,334
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,813	4,292
為替換算調整勘定	2,976	4,962
退職給付に係る調整累計額	322	290
その他の包括利益累計額合計	6,112	9,545
非支配株主持分	6,014	6,206
純資産合計	123,889	129,086
負債純資産合計	439,999	464,635

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)
売上高	128,601	135,840
売上原価	14,436	13,692
売上総利益	114,165	122,148
販売費及び一般管理費		
給料及び賞与	41,212	43,471
修繕維持費	2,900	3,696
貸倒引当金繰入額	45	-
水道光熱費	5,996	5,632
減価償却費	6,403	6,072
その他	46,524	50,417
販売費及び一般管理費合計	103,084	109,289
営業利益	11,080	12,858
営業外収益		
受取利息	758	602
受取配当金	60	73
持分法による投資利益	13	7
貸倒引当金戻入額	65	83
債務保証損失引当金戻入額	5	5
為替差益	4	1
助成金収入	128	122
その他	206	212
営業外収益合計	1,243	1,108
営業外費用		
支払利息及び社債利息	209	199
シンジケートローン手数料	42	44
控除対象外消費税等	320	258
その他	276	244
営業外費用合計	848	747
経常利益	11,476	13,219

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
特別利益		
固定資産売却益	9,044	24
関係会社株式売却益	0	-
投資有価証券売却益	8	-
有価証券償還益	257	1,478
新株予約権戻入益	313	-
特別利益合計	9,623	1,502
特別損失		
固定資産売却損	16	24
固定資産除却損	317	57
関係会社株式売却損	0	-
投資有価証券評価損	64	-
その他	0	0
特別損失合計	400	81
税金等調整前四半期純利益	20,699	14,640
法人税、住民税及び事業税	6,172	4,098
法人税等調整額	△588	756
法人税等合計	5,584	4,854
四半期純利益	15,115	9,785
非支配株主に帰属する四半期純利益	207	218
親会社株主に帰属する四半期純利益	14,907	9,567

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	15,115	9,785
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	651	1,478
為替換算調整勘定	3,607	1,986
退職給付に係る調整額	△28	△31
その他の包括利益合計	4,230	3,433
四半期包括利益	19,346	13,219
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	19,138	13,000
非支配株主に係る四半期包括利益	207	218

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	会員権事業	ホテルレスト ラン等事業	メディカル 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	26,517	68,260	33,276	128,054	546	128,601
セグメント間の内部売上高 又は振替高	27	2,314	264	2,607	1,048	3,655
計	26,545	70,575	33,541	130,662	1,595	132,257
セグメント利益	8,617	5,420	4,463	18,500	536	19,037

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	18,500
「その他」の区分の利益	536
全社費用(注)	△7,956
四半期連結損益計算書の営業利益	11,080

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	会員権事業	ホテルレスト ラン等事業	メディカル 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	27,735	72,574	35,000	135,310	529	135,840
セグメント間の内部売上高 又は振替高	30	2,639	439	3,109	971	4,081
計	27,766	75,214	35,439	138,420	1,501	139,921
セグメント利益	7,792	6,625	5,433	19,851	563	20,415

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	19,851
「その他」の区分の利益	563
全社費用 (注)	△7,556
四半期連結損益計算書の営業利益	12,858

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。